

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	補聴器・人工内耳		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期 水曜1限、木曜1、2限	教室名	4校舎301教室
担 当 教 員	西岡隼基、矢部洋子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
前半7: 補聴器についての知識を深め、リハビリテーションに必要な検査、訓練、および心構えを学習する。 後半: 人工内耳の役割・機能・マッピング、評価方法、装用指導法を聴覚医学、音響学、聴能学などに基づいて学び、言語聴覚士としての技量を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験にて60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準言語聴覚学: 聴覚障害学第3版(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
教科書の該当項目は読んでおくこと						
《履修に当たっての留意点》						
人工内耳、人工中耳はどんどん進歩しています。まずは基本的な構造や仕組みについての理解を深めましょう						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の種類と特徴を理解し説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	耳穴形、耳かけ形、各々の種類の部品位置・構造			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の音響特性について理解し説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	最大音響利得、最大出力音圧レベル、規準周波数レスポンス			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の加工について理解し説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	イヤモールド、音道、ダンパー、ベント			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の機能について理解し説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	最大音響利得、最大出力音圧レベル、規準周波数レスポンス			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の加工について理解し説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	ハンリニア増幅、マルチチャンネル、雑音抑制、ハウリング抑制			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人の補聴器適応までの流れを理解し説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	事前検査、機種選択、耳型採型、フィッティング		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の適合検査について理解し説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	語音明瞭度測定、環境騒音の許容を指標とした適合評価		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児の補聴器適合評価について理解し説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	装用耳・器種の選択、周波数特性と利得、装用状態		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工内耳の原理、構造を理解し説明できる	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	人工内耳システムの種類と構成、原理について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工内耳の適応、言語聴覚士の役割について理解し説明できる	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	適応ガイドライン、禁忌事項、施設基準、STの役割について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工内耳の適合・調整について理解し説明できる	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	マッピングの手法、コード化法、T/CLレベル、ダイナミックレンジなどマッピングに必要な用語について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工内耳装用効果の評価について理解し説明できる	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	装用閾値、Ling6などの評価法について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	最新の人工内耳機器について理解し説明できる(1)	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	日本コクレア社による最新の人工内耳システムについての講義		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	最新の人工内耳機器について理解し説明できる(2)	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	日本コクレア社による最新の人工内耳システムについての講義		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	その他の人工聴覚補償機器、今後の動向について理解し説明できる	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	人工中耳、聴性脳幹インプラント、補聴援助システムについて		